

令和元年度 第1回高知県健康づくり推進協議会 議事録要旨

- 1 【日時】 令和元年7月23日（火） 18:30～20:30
- 2 【場所】 高知共済会館3階 中会議室「藤」
- 3 【出席者】 協議会委員 14名（4名欠席）
事務局 6名、教育委員会 2名
- 4 協議事項
 - （1）現状について
 - （2）第4期高知県健康増進計画進捗状況及び令和元年度の取り組みについて
 - （3）各専門部会について
 - （4）その他
- 5 議事の経過の概要
会長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、協議が行われた。

議題（1）現状について

事務局より、高知県の死亡等の現状について説明を行った。

【内容等】

- ・委員より、本県は年齢別死亡者数の全国との差が働き盛り世代で多いが、平成17年に比べて平成27年は年齢の山が少し後ろにずれていることについてどのように考えるかとの質問があり、事務局及び委員より、平成22年度より40歳から64歳をターゲットに対策を行ってきた成果と考えている旨説明した。
- ・委員より、主要疾患の受療状況の推移について、外来の総数は変化していないが入院の総数が減っていることについてどのように考えるかとの質問があり、事務局より、医療機関の取り組みによる入院期間の短縮の結果が現れているのではと考える旨説明した。

議題（2）第4期高知県健康増進計画進捗状況及び令和元年度の取り組みについて

事務局より、令和元年度の取り組みについて説明を行った。

【内容等】

- ①子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着について
 - ・委員より、副読本を活用した健康教育の実施は、各学校の時間配分の中で行っているのかとの質問があり、教育委員会より、授業や学校行事、朝の会・帰りの会など、学校によって様々である旨説明した。
 - ・委員より、教育委員会の食事提供活動は有料なのかとの質問があり、教育委員会より、団体により無料、有料様々である旨説明した。
 - ・委員より、「なわとび先生（外部講師）」の派遣は、どのような場で活用されるのかとの質問があり、教育委員会より、基本的には学校の体育の授業以外で、放課後や週末などに取り組んでいるが、活用方法については学校により様々である旨説明した。
- ②働きざかりの健康づくりの推進について
 - ・委員より、健康井戸端会議の開催について詳しく教えてほしいとの質問があり、事務局より、パスポート取得者など一般県民の方や、健康パスポートの参加施設、特典提供施設などに集まっていただき、健康パスポート事業等ヘルシー・高知家・プロジェクトをさらに充実させていくための意見交換会の実施を予定している旨説明した。
 - ・委員より、ワークライフバランス推進事業「健康経営部門」は、認証に更新等はあるのかとの質問があり、事務局より、認証日から3年間の認証となり、その後は継続の意志について企業に確認を取っていく旨を説明した。

③生活習慣病の発症予防と重症化予防対策について

- ・委員より、県の保健師数について質問があり、事務局より、現在県が93名、市町村をあわせると県全体で424名である旨回答した。
- ・委員より、糖尿病アドバイザー事業において、糖尿病看護認定看護師や指導経験豊富な管理栄養士は何名ほどいるかとの質問があり、事務局より、糖尿病看護認定看護師は県内5病院6名、管理栄養士は糖尿病患者に対する専門的チームがある病院などから派遣をされている旨説明した。
- ・委員より、糖尿病アドバイザーの派遣における医療機関側との調整について質問があり、事務局より、看護部長等より、地域へ出向いての活動は、糖尿病看護認定看護師の役割であり、大変重要な事項であると賛同のうえ派遣をいただいている旨説明した。
- ・委員より、安芸福祉保健所管内で糖尿病対策に力を入れて活動している旨意見があり、委員より、活動の状況について情報提供があった。

④分野ごとの健康づくりの推進について

- ・委員より、改正健康増進法により、市町村本庁舎の建物内禁煙の割合、小・中学校の敷地内禁煙の割合は令和2年4月1日より100%になると考えてよいかとの質問があり、事務局より市町村本庁舎についてはその通りである旨回答した。教育委員会より、小・中学校の敷地内禁煙については、学校調査により以前より割合がかなり改善されているが、屋外に喫煙場所を設けているところもあり、引き続き協力依頼をしている旨説明した。
- ・委員より、空気もおいしい認定事業の施設数が増加しているかとの質問があり、平成30年度は23施設認定し、現在232施設である旨説明した。

議題（3）各専門部会について

- ・事務局より、平成30年度の各専門部会について説明を行った。
- ・本協議会設置要綱第3条第2項により、協議会長が各専門部会員を指名した。

議題（4）その他

- ・各委員より、事業への意見や各団体の取り組み紹介等が報告された。
- ・委員より、本県は養護教諭の設置率が低いため設置を進めていく必要があるのではないかとの意見があり、教育委員会より、教員の配置基準等により設置ができていない学校もあるが、スクールヘルスリーダーの派遣の事業の活用や、学校に個別訪問し協力依頼を行うなど、配置の促進に向けて取り組んでいる旨説明した。
- ・委員より、副読本が小・中学校で100%活用されているが、どのように活用しているかについて学校へ調査はしているかとの質問があり、教育委員会より、活用の方法までは調査ができていないが、活用の手引書を配布したり、今年度は実際の活用事例を紹介できるものを作成予定である旨説明した。
- ・委員より、「血管病調整看護師」について質問があり、事務局より、本県の事業において使用している名称であり、専門的な医療機関以外でも外来看護師を中心として血管病患者を継続的に支援していける体制づくりを目指している旨説明した。

○以上をもって、20時40分に閉会した。